



## (1) 日本の株式・債券市場

### 株式市場の動き

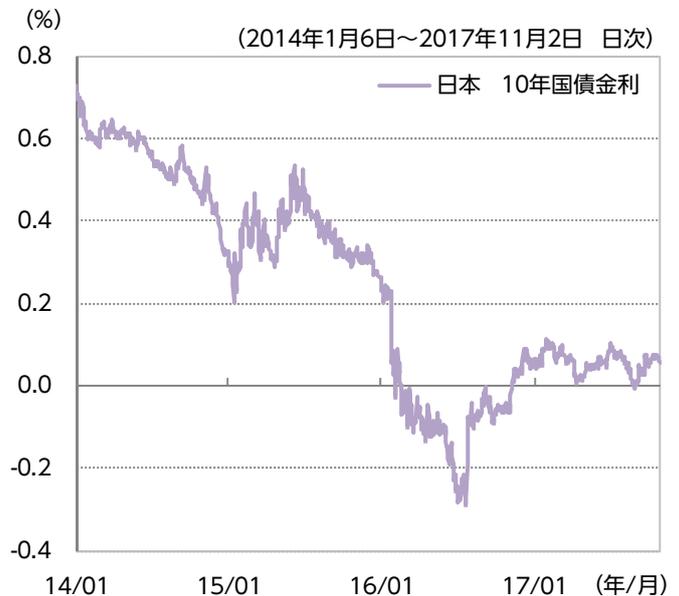
- 先週の日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇となりました。週初は前週末から引き続き、続伸してスタートしました。31日（火）は米株安をきっかけに利益確定売りが優勢となり下落したものの、米株高や円安、堅調な企業業績を背景に続伸し、週末はおよそ21年4カ月ぶりに2万2,500円台に乗せました。（週末引け値：22,539.12円）
- 週間では、日経平均株価は2.41%の上昇、東証株価指数は1.30%の上昇でした。



出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

### 債券市場の動き

- 先週の日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で小幅に低下となりました。財務省が実施した10年債入札や日銀が実施した国債買い入れオペ（公開市場操作）が、債券需要の強さを確認できる結果となり買いが優勢となりました（利回りは低下）。（週末引け値：0.055%）
- 週間では、0.018%の低下となりました。



出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

## (2) 米国の株式市場

### 市場の動き

- 先週の米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇となりました。週初は、法人減税の段階的な導入が検討されているとの報道を受け、景気刺激効果が弱まるとの見方から下落したものの、堅調な企業決算や米連邦準備制度理事会（FRB）次期議長にパウエル氏が指名されたことなどが好感され、週末まで続伸しました。（週末引け値：23,539.19ドル）
- 週間ではNYダウは0.45%の上昇となりました。



出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

## (3) 外国為替市場

### 市場の動き

- 先週の米ドル/円相場は、米税制改革の先行き不透明感などから、週初は円買い米ドル売りが優勢となりました。米長期金利の上昇や米連邦公開市場委員会（FOMC）の結果や、市場予想を下回った米雇用統計等を受けて、週末まで一進一退の展開となり、前週末比で円安米ドル高となりました。（週末引け値：114円00銭～10銭）
- 週間では米ドル/円は0.35%の円安、ユーロ/円は0.34%の円安となりました。



出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。